



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月29日

上場会社名 コムチュア

上場取引所 東

コード番号 3844 URL <http://www.comture.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 向 浩一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営統括 (氏名) 野間 治

TEL 03-5745-9700

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

平成30年2月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	12,116	22.4	1,383	51.3	1,406	50.0	1,039	64.2
29年3月期第3四半期	9,901	19.9	914	6.3	937	8.4	633	14.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,043百万円 (63.8%) 29年3月期第3四半期 636百万円 (16.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	71.34	71.09
29年3月期第3四半期	43.51	43.33

(参考) 持分法投資損益 30年3月期第3四半期 9百万円 29年3月期第3四半期 6百万円

当社は、平成29年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,060	4,619	57.3
29年3月期	7,285	3,883	53.3

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,617百万円 29年3月期 3,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	18.00	18.00	18.00	23.00	77.00
30年3月期	22.00	22.00	7.40		
30年3月期(予想)				10.40	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成29年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり第3四半期末配当金及び1株当たり期末配当金は株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,300	10.1	1,700	11.6	1,700	10.2	1,180	11.1	81.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行ったため、平成30年3月期通期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成30年3月期通期の1株当たり当期純利益は243円04銭です。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	16,078,500 株	29年3月期	16,065,900 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	1,490,280 株	29年3月期	1,500,540 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	14,577,687 株	29年3月期3Q	14,561,547 株

当社は、平成29年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の継続的な向上に加え、雇用・所得の改善が進むなど経済の好循環が実現しつつあり、ゆるやかな回復基調となっております。当社グループの事業に影響を及ぼすIT投資については、デジタルトランスフォーメーション時代において企業が競争力を高め、働き方改革を目指した業務の効率化や自動化を実現するためには必要不可欠なものであるため、クラウドサービス、データアナリティクスを中心に拡大基調にあります。クラウドサービスにビッグデータやIoT（モノのインターネット）等を加えた新しい市場（第3のプラットフォーム市場）は、2020年には約14兆円の市場規模に大きく拡大することが予測されています（IT専門の調査会社・IDC Japan株式会社「国内第3のプラットフォーム市場 産業分野・企業規模別予測を発表」による）。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、クラウド、ビッグデータビジネスの拡大を積極的に行った結果、4つの事業（グループウェアソリューション事業、ERPソリューション事業、Webソリューション事業及びネットワークサービス事業）が順調に推移したことに加え、AI、IoT、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）等の新技術・分野への積極的な取組みも新たな成長エンジンとなり、大きく伸張いたしました。この業績を支える活動といたしましては、現場の第一線にてお客様の要望や関心（ささやき）を吸い上げ、社内での知恵出しを行い、新たな提案・サービス（カタチ）にしてお客様に応える「ささやきをカタチに」する活動を重点施策の一つとして実行し、同時に高付加価値化の追求、生産性向上と高品質への取組みも継続的に行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、以下のとおりとなりました。

売上高	12,116,674千円	（前年同四半期比 22.4%増）
営業利益	1,383,708千円	（前年同四半期比 51.3%増）
経常利益	1,406,138千円	（前年同四半期比 50.0%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,039,992千円	（前年同四半期比 64.2%増）

主に高い市場成長率を示すクラウド、ビッグデータビジネスの拡大、およびAI、RPAなどの新技術への積極的な取組みにより、売上高は第3四半期累計として8期連続の増加となり過去最高となりました。また、利益面では、継続的な高付加価値化戦略による一人当たり売上高の増大、事業拡大による増益、見積りやプロジェクト管理プロセスの徹底による不採算案件の撲滅などにより、労務費の増加や連結子会社増による販管費の増加も吸収し、結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は第3四半期累計として6期連続の増加となり、こちらも過去最高となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① ソリューションサービス関連

当セグメントにおきましては、クラウド市場の成長を背景としたクラウド、ビッグデータビジネスの拡大、AI、RPA等の新しい顧客ニーズの高まりにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,945,657千円（前年同四半期比15.9%増）、営業利益は848,076千円（前年同四半期比40.2%増）となりました。

② プロダクト販売関連

当セグメントにおきましては、クラウドビジネスの拡大によるセールスフォース・ドットコムのリценズ等の売上が引き続き堅調であったことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は116,706千円（前年同四半期比1.8%増）、営業利益は66,629千円（前年同四半期比56.0%増）となりました。

③ ネットワークサービス関連

当セグメントにおきましては、お客様のクラウドへの移行に伴う基盤系ソリューション、遠隔監視ビジネスなど、ビジネスの高付加価値化を積極的に推進しました。また、前年第3四半期から連結した子会社も大きく寄与し、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,260,927千円（前年同四半期比36.4%増）、営業利益は470,852千円（前年同四半期比76.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べて775,122千円増加し、8,060,830千円となりました。これは主に、のれんが460,474千円減少したものの、現金及び預金が967,908千円、受取手形及び売掛金が355,340千円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べて39,653千円増加し、3,441,813千円となりました。これは主に、1年内返済予定を含む長期借入金が204,994千円、未払費用が98,062千円それぞれ減少したものの、買掛金が195,780千円、その他の負債が合計で188,175千円それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べて735,469千円増加し、4,619,016千円となりました。これは主に、剰余金の配当を上回る親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」(平成29年5月1日公表)で発表いたしました数値から変更はありません。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,513,044	3,480,952
受取手形及び売掛金	2,164,916	2,520,256
仕掛品	58,345	82,340
その他	321,838	335,148
流動資産合計	5,058,144	6,418,697
固定資産		
有形固定資産	405,307	376,392
無形固定資産		
のれん	889,410	428,936
その他	34,511	28,729
無形固定資産合計	923,922	457,666
投資その他の資産		
投資有価証券	213,569	181,687
差入保証金	324,475	313,696
その他	360,288	312,689
投資その他の資産合計	898,332	808,073
固定資産合計	2,227,562	1,642,132
資産合計	7,285,707	8,060,830

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	599,099	794,879
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	339,992	239,992
未払費用	519,888	421,826
未払法人税等	287,197	294,841
賞与引当金	223,149	172,846
役員賞与引当金	6,200	12,799
工事損失引当金	2,241	-
その他	341,237	557,644
流動負債合計	2,519,006	2,694,830
固定負債		
長期借入金	490,012	385,018
資産除去債務	161,106	158,163
その他	232,034	203,802
固定負債合計	883,153	746,983
負債合計	3,402,160	3,441,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,848	1,019,600
資本剰余金	267,748	278,751
利益剰余金	3,500,496	4,215,040
自己株式	△910,406	△904,145
株主資本合計	3,876,686	4,609,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,164	8,427
その他の包括利益累計額合計	5,164	8,427
新株予約権	1,695	1,340
純資産合計	3,883,547	4,619,016
負債純資産合計	7,285,707	8,060,830

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	9,901,995	12,116,674
売上原価	7,768,378	9,376,919
売上総利益	2,133,617	2,739,754
販売費及び一般管理費	1,218,777	1,356,046
営業利益	914,839	1,383,708
営業外収益		
受取利息	413	3,278
受取配当金	1,467	665
持分法による投資利益	6,037	9,347
保険解約益	20,269	8,315
その他	4,124	3,972
営業外収益合計	32,313	25,578
営業外費用		
支払利息	3,804	3,050
支払保証料	2,564	-
保険解約損	1,818	-
その他	1,540	97
営業外費用合計	9,727	3,148
経常利益	937,425	1,406,138
特別利益		
固定資産売却益	1,862	-
投資有価証券売却益	-	26,100
関係会社株式売却益	-	131,051
特別利益合計	1,862	157,151
特別損失		
固定資産除却損	10,342	-
投資有価証券売却損	-	12
特別損失合計	10,342	12
税金等調整前四半期純利益	928,945	1,563,277
法人税、住民税及び事業税	295,435	523,285
四半期純利益	633,510	1,039,992
親会社株主に帰属する四半期純利益	633,510	1,039,992

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	633,510	1,039,992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,452	3,262
その他の包括利益合計	3,452	3,262
四半期包括利益	636,962	1,043,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	636,962	1,043,255

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。